

浅間山砂防だより

～国土交通省による火山砂防事業のご紹介～

第11号 平成28年 3月15日

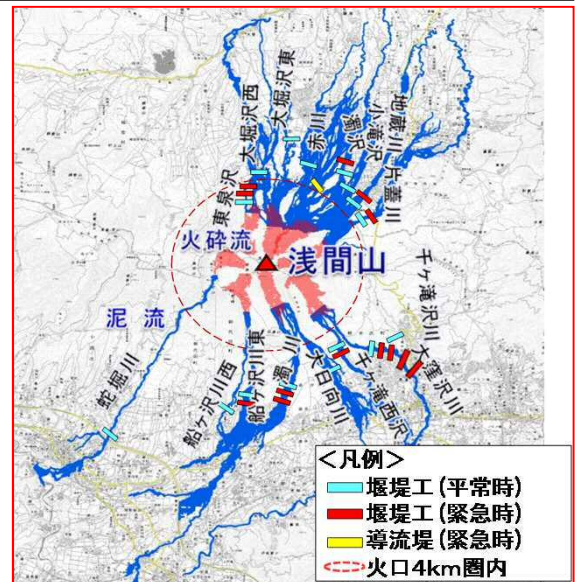
国土交通省
利根川水系砂防事務所 浅間山出張所

浅間山火山噴火緊急減災対策事業の工事進捗状況について紹介します。

浅間山出張所管内は、浅間山が噴火した際に発生する火砕流と山体に降り積もった雪が混ざり合い、泥流となって流れ下ってくると想定される渓流に砂防施設を整備し、災害を軽減する事業を群馬県と長野県の計16渓流にて平成24年度から実施しています。

また、平成27年6月に浅間山における火山噴火警戒レベルが「1」から「2」に引き上げられたことから、緊急的措置として暫定施設を設置し、被害を軽減する施設の工事も行っています。

今回は、平成28年2月までに完成した工事及び現在実施中の工事について紹介します。



【右図】
融雪型火山泥流の被害想定範囲と対策計画図(火砕流27万m³・積雪深0.5m)
※今後の調査・検討により堰堤位置、基数等は変更となる場合があります。

【長野県側の事業紹介】

小諸市内を流れる蛇堀川においては、噴火レベル「2」に引き上げられたことにより緊急減災施設の工事を実施しています。

◆緊急減災施設については、佐久市御馬寄地区において備蓄のコンクリートブロック（重量3t）を約300個を使用し、砂防堰堤を設置しました。

（工事受注者：（株）守谷商会）（写真右上）

◆軽井沢町と御代田町を貫流する濁川においても緊急減災施設1基を設置。この施設も蛇堀川で設置した砂防堰堤と同様にコンクリートブロック（重量3t）を積み上げた構造となっています。（工事受注者：畑八開発（株））（写真右下）

◆また、その他の渓流においても今後緊急減災施設の工事等を行うために必要な道路幅員の拡幅や待避所の設置工事も行いました。（工事受注者：松本土建（株））（写真左下）



◆平成27年度においてもコンクリートブロック（重量3t）を3375個製作し、佐久市望月地先と小諸市丙地先に備蓄しました。

（工事受注者：（株）守谷商会、松本土建（株））

写真は、コンクリートブロックを製作している状況写真です。



【群馬県側の事業紹介】

◆群馬県嬭恋村鎌原地先の片蓋川と濁沢においては、基本対策施設である砂防堰堤を工事するために必要な工事用道路が完成しました。

○片蓋川においては、路線延長約2km（写真左上）
（工事受注者：（株）山藤組）



○濁沢においては、路線延長約500m（写真右上）
（工事受注者：渡辺建設（株））



◆また、同嬭恋村鎌原地先「しゃくなげ園」付近の東側に位置する東泉沢においては、緊急減災対策施設としてコンクリートブロックを約300個使用した砂防堰堤を平成28年1月に完成しました。（写真右下）



とねさぼう

国土交通省 利根川水系砂防事務所



とねSABOモバイル

浅間山ライブカメラ映像や地域情報、防災情報などを携帯で配信中!

<http://www.ktr.mlit.go.jp/tonesui/m/>

浅間山出張所

〒384-2104

佐久市甲1399

（佐久市浅科支所 3階）

TEL 0267-58-1080

浅間山出張所管内



浅間山出張所案内図



浅間山砂防だより

第11号 H28. 3. 15

<http://www.ktr.mlit.go.jp/tonesui/index.html>